

学校教育目標

考え実践する 海田東っ子

— 笑顔・あいさつ・思いやり (EAO) —
— 「よく学び」「よく遊び」「やさしく強く」—

現状分析

知

・「課題発見・解決学習」の授業づくりを継続する中で、児童は主体的に学び、自分の考えを深めようとしている。
・児童は自分の考えをもつことができるようになってきた。引き続き協働的な学びを充実させることで、思考する力をさらに深めさせる。
・授業等の発表の場面で、自信をもってはっきりした声で発表することに課題がある。文章を声に出して読むなど、意図的に声を出す場面を設定する必要がある。
・読書に親しむ児童が増え、家庭で読書する習慣が進んでいる。

徳

・「美しいあいさつ」を目指してあいさつ運動などに取り組み、一定の成果はあった。
・「返事」、「あいさつ」への取組は、「自分がされてうれしい」という視点で取組を継続する必要がある。
・児童は、友達のをよさを見つけられるようになってきた。一方で、自分に自信がもてない児童がいるので、自己肯定感を高める取組を継続する必要がある。

体

・ロング昼休憩や毎週水曜日の学級遊びの日など、仲間や教師と共に楽しく外遊びができています。
・無遅刻・無欠席児童を掲示や放送で紹介することにより、登校への意識は高まっている。
・朝の排便が定着していない児童がいるので、早寝・早起き・ノーゲームの生活リズムの取組に加えて排便についても取り組む必要がある。
・自然災害時等における保護者への引き渡し下校体制が十分整備されていない。体制を整備し、訓練を行う必要がある。

開

・HP、学校・学年だよりにより、学校の様子を積極的に発信している。引き続き、児童の様子等を積極的に発信していく。
・スクールカウンセラー訪問等の情報を学校だよりで発信している。引き続き保護者への周知を図り、積極的な利用へつなげる。
・新たに自由参観週間を設定することで、地域・保護者へ開かれた学校としての取組をより推進している。また、保護者・地域参加型の授業を各学年で取り組んでいる。

本年度重点目標

知

・主体的な学びの場の工夫、改善
・思考力を深め、考えを伝え合う授業づくり

徳

・美しいあいさつ・返事・言葉遣いの指導
・靴そろえの指導
・お互いの良さを認め合う「よいところ見つけ」

体

・基本的生活習慣の定着
・外遊びの奨励
・安全教育の充実

開

・保護者・地域と共に創る授業の創造
・積極的な情報の発信
・家庭連携の充実

評価項目・指標

知

・「海田町標準学力調査」(CRT)の結果
・思考力を深める授業の実施

徳

・あいさつ・返事・言葉遣いについての肯定的評価の割合
・靴そろえについての肯定的評価の割合
・「よいところ見つけ」の取組

体

・学期ごとの無欠席児童の割合
・積極的に外遊びをする児童の割合
・安全な行動についての肯定的評価の割合

開

・保護者・地域参加型の授業の実施
・HP、学校・学年だよりによる情報の発信
・学校の取組に対する肯定的評価の割合